

絵画や書 カラフル・緻密

安佐南の施設利用者 宮島で作品展



会場作品に込めた思いを話す
水ノ上さん(中央)

広島市安佐南区の知的障害者施設「太田川町」のきょうりゅう宮島が25日、廿日市宮島町のきょうりゅう宮郷で始まった。30日まで。

開催は
平安祭典
29日
31日

「学園」の利用者が手掛けた絵画や書の作品展「ハナサクモリの冒険」
20〜70代の7人の計22点を展示。鳥や花、虹など自分の好きなものを詰め込んだカラフルな大作や、線路や家が密集する住宅地図のような絵など、自らの世界観を表現した作品が並ぶ。

この日は、作品を寄せた水ノ上菜優さん(25)と朝信新一さん(28)の2人によるトークイベントがあった。カラフルな大作を描いた水ノ上さんは「感動を描いたよ」と、両手を広げて作品に込めた思いを披露した。朝信さんは「きれいな風景を描くのが好き。自然に囲まれていると絵の発想も無限に広がる」と話した。

30日午後1時から別の出品者が会場作品を制作するイベントがある。(森戸新士)